

さいたま新都心に一番近い学校



下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 7 年 5 月 号
令和 7 年 4 月 3 0 日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

カリキュラム・マネジメント

校長 小田切 倫子

今年度は長い間美しいピンク色の花で私たちを優しく包み楽しませてくれた桜も、若葉が日に日に緑を増し、今度は力強い生命力で元気を与えてくれているかのようです。

新年度が明けて早々に、インフルエンザや胃腸炎などの感染症が流行し、学級閉鎖を余儀なくされるなどとても心配しましたが、ようやく落ち着きを取り戻している状況です。これからは気温も上がりますので、引き続き体調管理に気を付けてまいりたいと思います。

さて、タイトルの「カリキュラム・マネジメント」という言葉を聞いたことがありますでしょうか。この「カリキュラム・マネジメント」について、文部科学省は、『社会に開かれた教育課程』の理念の実現に向けて、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程の中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくこと」と示しています。“よりよい学校教育がよりよい社会を創る”ということが基本の考え方で、今、学校の教育目標や目指す子ども像などを地域社会と共有しながら連携・協働を進めることが求められているのです。

そこで、本校では「カリキュラム・マネジメントを視点とした6年間を貫くストーリー」を以下のように策定しました。

地域の一員としての自覚を高め（低学年）
地域に目を向け（中学年）
地域貢献できる人へと成長する（高学年）

このことは、先日の学校公開で実施した学校説明会でもお話しさせていただいたのですが、私として大切にしたいのは、“地域の一員”としての自覚をもつということです。小学生ですから、まだまだお世話をしていただき見守っていただくという発達段階です。でも、子どもたちのもつエネルギーがどんなに素晴らしいかということを実感している私としては、子どもたちがぜひ地域の中でも輝く存在であって欲しいと思っています。難しいことを要求するものではありません。あいさつを元気にも、交通ルールをしっかり守ることも、明るく安全な地域をつくる一員としての行動です。行事やお祭り、掃除のボランティア活動などに積極的に参加することは、地域を盛り上げ、地域をよりよくする行動ですから、生活科や社会科、総合的な学習の時間、道徳などで学んだことが、子どもたちの中で“生きて働く力”となった証です。そして、地域社会に参画することをおして、小学生なりに課題意識をもち、課題解決のために思考し、実行するという学びの循環が生まれる…。温かく協力的な地域、そして新都心駅に最も近い学校という立地、この恵まれた環境下にある下落合小学校としての強みを生かし、このようなストーリーを掲げて「カリキュラム・マネジメント」を展開していきます。特に総合的な学習の時間は、今年度より地域に根差したカリキュラムに改訂して学習を進めます。

この理念を、5月7日（水）の講話朝会で子どもたちと共有します。そして、子どもたちの意欲を高めることを目的として、報告レポートを募集することを告知します。“地域の一員”という気持ちで取り組んだことならなんでもOK！詳しくは、7日（水）に子どもたちに配付するチラシをスクリーンにて配信しますので、ご覧いただき、お子様の取組を支えていただけましたら幸いです。